

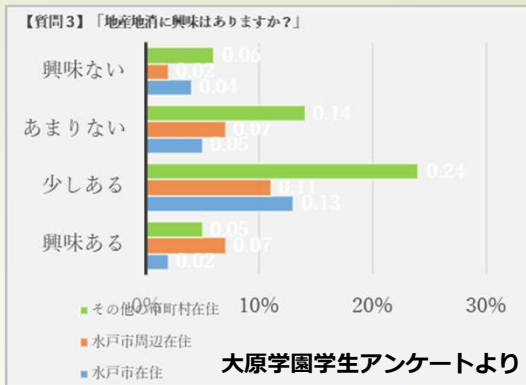
Good Appetite!

～地産地消でよい食事を～

オープンデータの活用を通して、地産地消の興味・関心を高めたい。

右図は、大原簿記情報公務員専門学校水戸校に在籍する、法律行政科1、2年制の185人に実施したアンケートの結果である。

結果から、学生達は地産地消に対し前向きであるが、水戸市のオープンデータの中にある「みとうま加盟店」（地産地消推進店）に足を運んでみると「みとうま」に対し、積極的でなく、水戸市全体としても、地産地消に対する取り組みが活発でないことが感じられなかった。また、水戸市の農業についても課題が増えていっているため、地産地消を推進していく事で、水戸市の地域活性化につなげたいと思った。



- ・店舗の認知度UP
- ・売上上昇



- ・新鮮な野菜を直接届けられる。
- ・野菜の認知度向上

- ・健康促進
- ・対面で買い物ができる

地域のコミュニティづくり



- ・お菓子やクーポン券の抽選

食フェスの開催!!

学生×水戸市×地産地消推進店×地元農家

地域の活性化に繋がる

<企画の流れ>

①場所の確保 (どこでやるのか)

・学区内のみとうま加盟店や人数(家族世帯など)がどのくらいいるのかなどを考慮しながら確保をする。
(市民センター、小学校などと交渉)

②予算確保

・イベント開催にあたり、費用の見積もりや援助してくれる団体(地元農業団体など)を探す。

③協力者を探す (店、農家、行政)

・地区ごとの「みとうま加盟店」や農家に参加してもらえるように、直接交渉する。
・行政に企画案を提出し、相談し、協力してもらう。
・地域の実行委員会と連携

④開催!

反響によっては他の地区でも開催し、最終的には他の学校でも開催し、大きい規模で開催できるようにする。